

もしもの時に知っておきたい…

お葬式の事前相談について

事前相談あり Aさん

事前相談なし Bさん

危篤になる(病院にて)

最期にあわせたい人に連絡しよう

考えてなかった…誰に連絡すればいいんだろう?



ご臨終(病院にて)

JA葬祭ならお迎えから対応してくれるから連絡しよう

えっ、葬儀会社をすぐに決めないといけないの? どうしよう!



お打合せ(ご自宅にて)

事前に相談していたとおりでお願いします(確認1時間)

祭壇はどうしよう? こうしたいけどどうしよう?(打合せ2~4時間)

通夜式・告別式(式場にて)

思ったより人数が増えたけど料理も増やしておいて慌てずに済んだ

あれ、連絡してない人も来てくれている…慌てて決めたから料理が足りない



葬儀後の感想

故人と最期のお別れができていい葬儀ができたわ

あれこれ考えることが大変でお別れどころじゃなかった…



ご希望の方法で相談をお受けいたします!

ご来店での相談

JA葬祭にお越しいただき、ご相談・お見積りなどを行います。ホールの見学も可能です。



お電話での相談

お電話にてご不明な点のご相談を承ります。お近くのJA葬祭にご連絡ください。

詳しくはお近くのJAにご相談ください。

県内JA葬祭窓口に関しては(株)JAライフクリエイト福島HPをご覧ください。

<http://jalcf.jp/services/kurashi/>

JAライフクリエイト福島

検索

クリック



JA組合員のみなさま



JA葬祭通信

地域とともに、ゆたかな暮らしのお手伝い

2023.9月発行 第24号

発行/福島県JA葬祭事業連絡協議会
編集/株JAライフクリエイト福島 生活事業部 催事課
〒963-0725 郡山市田村町金屋字下夕川原76番1
TEL024(942)5078
ホームページ <http://www.jalcf.jp/services/kurashi/>
お客様相談窓口
(ご意見・ご質問) ☎024(942)5078

Contents

- スタッフ接遇コンテストの開催
- 商品紹介「特撰お位牌」
- 令和5年度JA葬祭事業の取り組み
- 豆知識「お釈迦様について」
- 県下統一事前相談会の開催
- 事前相談について

第13回 JA葬祭斎場スタッフ接遇コンテスト開催について

日頃よりご利用いただいている組合員・地域の方々に安心して葬儀を執り行えるようスタッフ一同のスキルアップ、司会技術や式運営力の向上に取り組んでおります。

日頃の業務の集大成として令和5年6月27日(火)に第13回JA葬祭スタッフ接遇コンテストを開催いたしました。各JA・会社の代表3名のスタッフがチームを組み、計4チームが出場しました。

コンテストの審査項目は身だしなみから始まり、葬儀・告別式のスタッフの動きや司会の案内、会葬者への対応等を審査いたしました。



最優秀賞：(株)JA福島さくら協同サービス



商品紹介「特撰お位牌」

お位牌は亡くなられた方への最後の大切な送り物に、歴史と伝統が育む匠の逸品を。400年の伝統を誇る会津塗りの技法を活かし、熟練した職人の手技による高品位な製品を数多く取り揃えております。

詳しくはお近くのJA葬祭へお問い合わせください。





令和5年度 JA葬祭事業の取り組み

JA葬祭としての資質向上対策



JA葬祭はご利用の皆様からのご要望に応えるために、各JA・会社の職員・社員の葬儀知識及び、技術向上のため、研修会を開催しております。葬祭業務専門講習会（初級者基礎・スタッフ接遇・JA葬祭女性部・JA葬祭青年部）を実施し、皆様が安心して葬儀を執り行うことができるよう取り組んでおります。

令和5年度 JA葬祭女性部

女性スタッフ中心にご利用者様への満足度並びサービスの向上を目的に発足。



次世代を担うリーダー育成のため青年部を発足

令和5年度新たに青年部を発足。次世代を担うリーダー育成を目的に、福島県内各JA・会社の中間管理職を対象に研修を行いました。7月には他県の斎場に伺い、見聞を広めるため、多くの担当者が参加いたしました。



スタッフ接遇研修会

斎場でのお客様への対応や車椅子指導など斎場スタッフとしての心構えなどを学びました。

初級者基礎講習会

今年から葬儀に従事する社員への心構えや礼、挨拶の基本となる講習会。

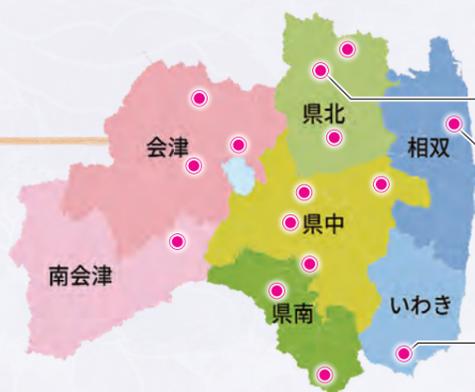


県下統一事前相談会会場

第22回県下統一事前相談会、人形供養祭を開催

福島県の各JA斎場にて県統一の事前相談会を開催。もしものときに備え、ご利用の皆様が安心して葬儀を執り行えるように各JA・会社の職員・社員一同誠心誠意を込めてご対応いたします。また、地区によっては、新盆展示会や人形供養祭を同時開催いたしました。事前相談は随時受付しておりますので、お近くのJA斎場にお越しください。

第23回県統一事前相談会は9月10日(日)を予定しております。



人形供養・新盆展示会
その他イベント同時開催



豆知識

お釈迦様について

● 誕生

仏教の開祖釈迦は、紀元前五世紀ごろにインドで釈迦族の王子として生まれた。本名は姓をゴータマ 名をシッダールタという。釈迦という呼び名は、その出身である釈迦族からとったものである。のちに真理に目覚めてからは、仏陀(ぶつだ)・釈迦牟尼世尊(しゃかにむにせそん)(釈尊(しゃくそん))などと呼ばれる。

また、お釈迦様の誕生日は4月8日とされ、その前後に誕生を祝う法会(ほうえ)が各地のお寺で行われています。現代では「花まつり(仏教後では灌仏会:かんぶつえ)」と呼ばれおり、参詣に訪れた方に甘茶がふるまわれたりします。

● 生涯

誕生

ルンビニー園での誕生と生母の死
(四月八日 花まつり降誕会(ごうたんえ))

出家

二十九歳ごろに宮殿を捨てて出家
(結婚後一子をもうける)

苦行

それから六年間の厳しい修行(断食と坐禅の日々)

成道

苦行の中止後に菩提樹の下で悟り
(禅定の中で悟りを得る)
十二月八日 成道会(じょうどうえ)

説法

鹿野苑という地で初めての説法
(中道・縁起・四聖諦・八正道)

入滅

八十歳、クシナガラで
(キノコまたは豚肉料理による中毒死)
二月十五日 涅槃会(ねはんえ)
頭を北、顔を西に向け横たわり入滅。

● 教え

釈迦が菩提樹の下で悟り、説いた教えとは中道(ちゅうどう)縁起(えんぎ) 四聖諦(ししょうたい) 八正道(はっしょうどう)の四つの真理から成り立っている。これらの修行を積むことによって煩惱をなくし、結果として苦を克服することができるとしているのである。

中道 何事も両極端はいけない。ほどほどがよい(考え、行動)
(ちゅうどう)

縁起 水がこの世になかったら雨は降らない。親がいなければ子は生まれない。このように物事には必ず「因(いん)」があってそれがあるところに必ず「果(か)」も起こります。あるものに対して他の何かがあるような形で縁となって働きかけをし、その結果に何か生まれ起こることを「縁起」という。生まれたものもやがて死ぬ。若者もやがて老いる。愛し合う者たちにもいつか別れが来る。これは人間の多くの苦しみを生み出す原因である。このように物事はお互いに関係しあっている。

四聖諦 苦諦(くたい)…生まれてきたわれわれの世の中の様相は「苦」であると見極めること。

集諦(じつたい)…苦を引き起こすのは、欲望と執着を集めることと見極めること。

滅諦(めつたい)…見極めた「苦」の原因、人の世の欲望と執着を捨て去って滅すること。

道諦(どうたい)…それを導く具体的な手段の「八正道」を日々怠りなく実践すること。

八正道 正見(しょうけん)…正しく真実の姿を見据える
(はっしょうどう) 正思(しょうし)…正しく本当のところを考える
正語(しょうご)…正しい言葉で正しく語る
正業(しょうごう)…正しい行徳・行為をする
正命(しょうみょう)…正しい生活をする
正精進(しょうしん)…身心を整え、健康に留意して、正しい努力をする
正念(しょうねん)…正しい信念を持ち、希望に燃える
正定(しょうじょう)…以上のことを常に正しく守れるように身心を落ち着ける

東の空を曙光が赤く染める頃、「天眼」が生じ、釈迦は真理に目覚めて「仏陀」となった。35歳のときのことである。